大月町 議会だより

105号

6月定例会

令和3年8月1日発行　高知県大月町議会

105号
大月町議会だより

◇ 7月臨時会の概要 ◇

令和3年7月第4回大月町議会臨時会は7月15日の会期1日で開催、補正予算1件が提案され賛成多数で可決しました。他に、報告（専決）1件がありました。

もくじ

P 2　6月定例会
- P 4　補正予算・契約・専決（承認）
- P 5　条例・人事・専決（報告）
- P 6　第7次大月町総合振興計画
- P 7　陳情（夫婦別姓の意見書）
- P 8　委員会報告

P10　7月臨時会

P12　一般質問

P16　こんにちは

表紙写真によせて

「七夕祭りだゾゥ～」
みんな、笑顔でピース。

◇ 6月定例会の概要 ◇

令和3年6月第3回大月町議会定例会は6月10日から6月15日までの会期で開催、条例（専決）2件、補正予算（専決）1件、条例5件、補正予算2件、その他（第7次大月町総合振興計画）1件、契約1件、人事案件1件、陳情1件は議員発議とし、計14件の全議案を承認・可決しました。他に、報告（専決）5件、委員会報告2件の計7件がありました。

コロナワクチン接種は8月7日に完了予定！
12歳以上の希望者全員（約3400名）、

6月定例会

補正予算〈全員承認〉

○一般会計補正予算

【内容】新型コロナウイルスワクチンの接種事業及び対策事業等。

補正増額　1億6284万円
補正後額　51億9884万円

（歳入）

- 国庫支援金・新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金等　1億1892万円
- 繰入金（財政調整基金、ふるさと応援基金）　1691万円
- その他（繰越金等）　2701万円

（歳出）

- 新型コロナ感染症対策費　1億2691万円
- まちなか循環バス運行費　337万円
- 移住希望者住宅改修費　250万円
- 子育て世帯生活支援給付金　340万円
- 町管理漁港沈廃船処理事業　635万円
- その他補正額　2031万円

早めのワクチン接種を

○大月町病院事業会計補正予算

【内容】新型コロナウイルス感染症対策として環境整備。

（資本的収支）補正増額　926万円
補正後額　2205万円

（収入）

- 他会計補助金・新型コロナ対策交付金　926万円

（支出）

- 新型コロナ対策費・資材倉庫・院内衛生整備費　926万円

沈廃船処理できれいな港を

契約〈全員賛成〉

○水第1号　大月町簡易水道施設工事

- 契約方法　指名競争入札
- 契約金額　1億2919万5000円
- 契約相手　大月町弘見1605−イ　長山建設株式会社
- 契約期間　契約発効の日から令和4年3月25日

承認〈全員承認〉

○大月町税条例等の一部改正

【内容】地方税法の改正による。個人住民税における住宅ローン控除の特例の延長、固定資産税の負担調整措置の延長等。

- 施行日　令和3年4月1日
　令和4年1月1日
　令和6年1月1日

※条文により施行日が異なります。

○固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

【内容】過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法により固定資産税の課税免除の適用期限の延長等。

○半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

【内容】半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置の延長等。

○令和2年度大月町一般会計補正予算補正増額　3053万円

【内容】ふるさと納税に係る諸経費及び基金への積立、がけ崩れ住家防災対策事業費。

条例

〈全員賛成〉

○大月町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

【内容】特殊勤務手当の支給対象となる新型コロナウイルス感染症の規定の改正。

○職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正

【内容】押印の廃止等。

○大月町手数料徴収条例の一部改正

【内容】住民票の記載事項の証明及び外国人登録原票記載事項証明を削除。

・施行日　令和3年9月1日公布の日から

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

【内容】不服審査の手続きの利便性を図るため押印の廃止。

○大月町介護保険条例の一部改正

【内容】新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免対象の納期延長や所得判定基準の改正。

人事

〈全員賛成〉

○人権擁護委員候補の推薦につき意見を求めることについて

高坂（たかさか）　一弘（かずひろ）氏（姫ノ井）

報告

〈専決処分〉

○緊自債第1号　普通河川泊浦川河川改修工事請負契約の変更

【内容】

・契約相手　協業組合テスク

・変更事項　契約額の増額　347万6000円

変更後契約額　6878万3000円

・変更理由　河川護岸・排水路施工に支障となる水道排水管などの移設や梅雨などの影響により排水ポンプを大きくしたための増額。

○防安第1号　町道月灘海岸線落石対策工事請負契約の変更

【内容】

・契約相手　久米建設株式会社

・変更事項　契約額の増額　359万7000円

変更後契約額　6821万1000円

・変更理由　落石防止網設置に伴う支柱アンカー施工をグラウドアンカー施工に変更。資材費及び施工に支障となる立ち木伐採による増額。

完成した月灘海岸線落石対策工事

総合振興計画〈賛成多数〉

○第7次大月町総合振興計画の策定について

第6次大月町総合振興計画に次ぐ、令和3度から令和12年度まで10年間の振興計画を策定。「住みたい　住める　住んでよかった　未来へ繋ぐまちづくり」を理念に「人づくり、地域づくり」を推進テーマとした。

総合振興計画はまちづくりの主要な課題として6項目を掲げ、SDGs（持続可能な開発目標）の17項目の目標のもと令和3年度から令和7年度までの前期5年間の施策を分野ごとにまとめそのゴールを目指している。

国連で採択された、
より良い世界を目指す17の国際目標

よりよい計画に向けて討論

【反対】浦木　秀雄

(1)第6次大月町総合振興計画の目的は産業振興、第7次大月町総合振興計画の目的は人づくり、地域づくりと目的が変わってしまい、計画の一貫性がない。

(2)人口減少対策、働く場対策、若者対策を最優先にせず、人づくり、地域づくりが推進テーマになっている。人づくり、地域づくりは、人口減少対策、働く場対策、若者対策などを行いながら成り立つものである。

(3)第7次大月町総合振興計画は、働く場が不十分、雇用対策に不満という住民アンケートの結果に応えていない。

(4)人づくり、地域づくりを進める第7次大月町総合振興計画と実施計画に統一性がない。

(5)第6次大月町総合振興計画の目的が達成されず、その反省がうやむやにされたように、第7次大月町総合振興計画の目的も達成されない結果になりかねない。被害を受けるのは住民である。

5点にわたって、大いに問題があり反対する。

【賛成】安岡　邦彦

本計画の作成にあたり、住民のアンケート調査を行い、住民の意向を十分に反映されたものと思っている。その結果、6つの基本目標を掲げ、目標ごとに施策を打ち出し、それぞれの現状・課題・主な取り組み・目標指数を定めており、3年ごとにローリング方式で見直して、この計画が達成されるよう予算措置されている。この計画書は各種団体の代表者、学識経験者、議員、計10名が審議員として英知を結集して作成されたもので大月町の最高位の計画として、将来のまちづくりの方向を示されたものであり、適切なものと判断する。故に、賛成する。

《反対》浦木秀雄
《賛成》安岡邦彦　久米里志　依岡一生
山本恒和　安原明彦　中田　巌
野村満久

未来に繋ぐまちづくり計画書

陳情

〈賛成多数〉

○選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書について

【反対】山本　恒和

夫婦別姓の課題は多く存在している。夫婦別姓による夫婦間の子の姓は、夫婦の姓の何れかを選択することになるが、複数の子の場合、それぞれの子の姓が異なることもある。夫婦別姓は、子の姓まで影響する大きな課題であり、その子が成人後に本人の意思による改姓の課題も生ずる。夫婦別姓は婚姻を容易にするが、逆に、離婚による障害が少なく安易な離婚が生ずる可能性が高く、夫婦・兄弟姉妹の別姓は家庭の絆を弱体化させる可能性がある。

婚姻は家庭の始まり、姓を同一にして家庭・家族を守り抜く決意の現れであり大切なことである。

法的な課題として、夫婦別姓をどの様に規定するか。無条件の選択制、条件付き選択制にするかにより結果は大きく異なってくる。また、成人後の子の改姓をどの様に規定するのか。日本は婚姻において夫又は妻側の何れかの姓を選択でき、夫婦同姓は必ずしも男女間の平等を損なうものでは無い。

それらの事を踏まえ、議会として論議をする必要がある。

今、議会が求められているのは、議会の権威・品格・見識であり、日本社会の安定の基盤となる家庭・家族の基本的な考え方について論議し、明確な論拠をもった結論を出す事であり、それを全議員が共有しなければならない。

当陳情に関する論議が無い状態での採決は認められない。故に、反対する。

今回は否決し、当陳情で欠落している夫婦別姓による課題をどのようにとらえているかまで含めて再陳情による対応を提案する。

【賛成】野村　満久

これまで長い間議論はされてきており、問題を生じることもあるが、選択的夫婦別姓は、これだけ民意が発生している中で、時代の流れに沿って行くことは当然のことだと捉えている。誰一人取り残さないＳＤＧｓの理念も踏まえ、一人ひとりの権利が保たれることが一番大事なことで、姓が同じでなければ秩序が保たれないとか、家族の絆がどうだとかいうことは、それ以前の問題であると考える。絆があれば、姓だとか男女だとかいうことは全く関係ないと思い、賛成します。

【賛成】浦木　秀雄

基本は性の平等だと思う。ジェンダー平等と言われています。そこを尊重しないと、これからの世の中は成り立たないのではないか。国際的に見てもこの流れが潮流であり、日本だけがこだわっている問題と思っている。

人の性はその人が決める。人の氏はその人が決める、お互いが合意をして選択的に決める。その方が正しい道ではないかと思って賛成をします。

《反対》依岡一生　山本恒和
《賛成》安岡邦彦　久米里志　浦木秀雄
中田　巌　野村満久

◎意見書は賛成多数で可決し、関係省庁へ送付した。

委員会報告

《産業建設常任委員会陳情審査報告》

◇大月町再生可能エネルギー発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について

当委員会は、付託された陳情ついて陳情者からの聞き取り及び現地調査し審議した。

再生可能エネルギーの導入については、平成24年7月の固定価格買取制度開始以降、全国的に太陽光発電を中心に導入が大きく進んだ。こうした中、太陽光発電施設の設置、運営そのものに関する法令等がなかったことなどから、全国で地域住民等と太陽光発電事業者等との間でトラブルが発生し問題になるケースが多発。国や県においては遵守すべきガイドラインを整備したものの50kw以上が対象の為、現在町内でトラブルとなっている50kw未満の発電設備については届出義務がなく事業者任せになっている。

住民とのトラブルのない発電設備を

現地調査では、パワーコンディショナーからの騒音や、太陽光パネルの発熱、景観が悪くなる等近隣住民は不快な生活を強いられている。陳情者及び住民からの聞き取り調査では、事業者のモラルや常識的な対応を強く求めている。また町としも10kw以上は原則課税対象となるので全て把握するべきである。

当委員会は以上の状況を踏まえ、陳情者の趣旨に賛同し、10kw以上50kw未満の発電事業者に対しても届出義務が必要だと全会一致で採択すべきものと判断し、執行部に対して今後の国や県の動向も注視しながら再考を求めることとした。

《総務厚生常任委員会中間報告》

◇若者定住対策

2011年から2021年にかけて、大月町の最上位の計画である「第6次大月町総合振興計画」が作成され様々な施策が実施された。

2010年の大月町の人口は5783人。2020年の予測人口を4980人とした。しかし、計画が作られてから10年経った2020年には1351人減の4432人（国勢調査速報値）になった。予測より大幅な人口減少である。

三原村星ヶ丘団地を視察

町内に定住する若者は少なく、人口減少、少子高齢化、過疎化にいっそう拍車がかかり、より厳しい状況に陥っている。

この課題を解決するため、当委員会は、「若者定住対策」をテーマに掲げて所管事務調査をすることにした。そのなかでも、「宅地造成」に絞って取り組むこととし、三原村土地開発公社を訪問し星ヶ丘団地を視察した。

今後は、大月町の「将来構想と宅地造成」の位置づけを明確にしたうえで、財政面も検討し、「宅地造成」に取り組むための提言をしたいと考えている。

議会の録音放送のご案内

☆告知端末の設定方法☆

ボリューム設定

右に回せば音が大きくなります。

チャンネル設定

放送時間に告知端末のチャンネルを「４」に合わせてください。

☆放送日について☆

定例会の行われた翌週の金曜日から1日2，3名ずつ放送いたします。再放送も行いますので、ご予定に合わせてお聞きください。
（定例会は3月・6月・9月・12月に行われます。）

次回定例会は **9 月**の予定です。

6月定例会の傍聴者は **5 名**でした。

傍聴・録音放送のお問い合わせは
議会事務局までお願いします。
（電話：0880-73-1682）

7月臨時会

補正予算

〈賛成多数〉

○一般会計補正予算　予算増額　1392万円

新型コロナウイルス感染症対策事業

- 個人番号カード促進報償費　1500万円
- 経済活性化印刷費・手数料・委託料　467万円
- 物流センター設置事業補助金　△2000万円

その他補正額　1425万円

ワクチン接種の受付

補正予算質疑続々

質疑

浦木　報償費、新型コロナウイルス感染症対策事業個人番号カード促進報償費・需用費・役務費等で1660万円の組み替えをしている。何故、決めたものを組み替えることになったのか。また、促進報償費の内容は。

答　6月の議会で道の駅の作業場2000万円の計画を提案していましたが、ふるさと納税の減額があり、このままでは公社運営に支障をきたすので組み替えをしました。個人番号カード促進報償費は、6月1日時点の住民4843名の60％×地域振興券5000円分を配布するとして1500万円としました。

浦木　今の答弁では、新型コロナウイルス対策費として、マイナンバーカード取得者及び申請者に5000円分の地域振興券を支給することになる。これは新型コロナウイルスと個人番号カードが関わってくるが、マイナンバーカードをどのように押さえて実行しようとしているのか。

答　国のすすめるデジタル化社会基盤という位置づけで、マイナンバーカードはオンラインで確実な本人確認ができ、現在社会の基盤となる位置づけとし、令和2年末にほぼ全国民に行き渡ることを目指しています。

本町では、マイナンバーカードを利用した独自サービスはできていませんが、10月からはマイナンバーカードを利用した証明書の発行もできるようにしようとしています。

浦木　国は住民福祉の向上のためにマイナンバーカードを作るという目的ではない。貯金、健康、介護、資産、そういうものを全部紐付けて、個人の特定ができるようにする。だから、住民にとっては非常に不安である。

国がおかしいことをしているのに、大月町はそれに乗っている。大月町はどのように考えているのか。

答　国が定めたことで全国的に取り組んでいるので、大月町も取り組んでいかなければならないと考えています。

安岡　ふれあいパークの2000万円の補助金は6月に補正を組み、1か月の間にダメになった。ふるさと納税については、以前から著しく減額されているということを聞いているが事前の調査が不十分ではなかったか。

また、大月町のマイナンバーの取得率は。

答　ふるさと納税の減額状況は6月の時点で把握していました。ただ、巻き返しを図っていきたいという思いがあって公社と事業を進めていく計画でした。なかなか速効策が見当たらず、新しい建屋を建築するよりも、費用対効果を考えてマイナンバーの商品券に切り替えたわけです。

マイナンバーの取得率は、6月30日現在で23・5％です。本町は県下34市町村中20番目で幡多郡下では最下位です。

より多くのふるさと納税を

安岡　マイナンバーの取得率60％をめざすということですが、60％を超えたときは補正で報償費の追加対応するのか。

答　補正で対応いたします。

中田　道の駅の作業場、ふるさと納税の回復の兆しが見えたときにどうするのか。

答　道の駅は本町の産業振興、観光、全ての核なので、回復して安定した経営が見込まれるようになれば、当然考えていかなければならないことです。

マイナンバーカード申請受付中
（町民福祉課）

安原　地域経済活性化手数料・委託料に関する商工費の役務費・委託料537万円の予算消化状況は。

答　キャッシュレス事業を展開しているペイペイと協議中ですが費用振替を補正予算で計上し、11月からのキャンペーンの実施を予定しています。

討論

【反対】浦木　秀雄

マイナンバーは個人の意思により取得すべきであるのに、新型コロナウイルス感染症対策事業予算が利用されている。国は、合法的にマイナンバー制度を利用して個人情報の管理をしようとしている。本町がこれを推進していることは、国に追随していることであり、地方自治の命取りになる。当予算措置は、本来の目的外使用であり、反対せざるを得ない。

【賛成】安岡　邦彦

マイナンバー制度は、国策として諸々の個人情報を管理し、スムーズな行政手続きを推進させるものと考える。

新型コロナウイルス感染症の4度目の緊急事態宣言がされた中、都市から離れた本町でも、交付金を活用して、皆がマイナンバーを取得し、情報のデジタル化を図り、地域の振興、経済の活性化、行政手続きの簡素化を推進することは意義があり、当予算に賛成する。

《反対》浦木秀雄
《賛成》安岡邦彦　久米里志　依岡一生　山本恒和　安原明彦　中田　巌　野村満久

依岡　一生 議員

農業振興

農業公社の立ち上げは
総合的判断で考える／町長

問　①第2期総合戦略に「農業公社等の専門機関の設立について検討する」とあるが促進する考えはあるか。
②地産外商（農産物）の促進計画はあるか。

岡田町長　①県内の市町村は、農業公社など、様々な形態で組織を立ち上げ、新規就農者の研修、農作業の受託、庭先集荷などの取り組みを支えます。農産物の生産、販売、加工や直売所の経営など、農業で稼ぐ取り組み「中山間農業複合経営拠点」を本町も県と協議し、検討しています。現時点では課題が多く、農業公社は総合的な判断で考えていきたいと思います。
②地産外商については、ふるさと振興公社を核として、有望品目を販売促進し、支援して行きたいと考えています。

障害者福祉計画

就労支援や社会参加支援
町の独自計画はない／町長

問　①障害者の社会参加に向けた就労支援計画は。（農福連携）
②障害者福祉施設、在宅障害者サービスの計画は。

岡田町長　①町独自の計画はないが、障害のある人の社会的、経済的自立と多様な働き方のニーズに対応できるよう雇用機会の確保に努め、就労支援の取り組み、計画を立てていきます。農福連携はまだ進んでいませんが、この支援の必要性は認識しているが、内容を踏まえて検討しなくてはならないと考えています。
②社会生活を総合的に支援していきます。障害者福祉計画の早期完成に努力します。

荒れ果てたハウス

農福連携とは
農林水産省・厚生労働省が推奨しているもの。
障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。

GIGAスクール構想

学習プラットフォーム
高知県学び箱を活用／教育長

問　①GIGAスクール構想の「学習プラットフォーム」オンライン学習は進んでいるか。
②オンライン管理・運営はどのように進んでいるか。

伊与田教育長　①タブレットは全て貸与が終了しました。高知県教育委員会が整備した高知県学び箱を活用して、学力分析、個別指導に活かせる仕組みとなっています。教育データの収集、分析等は、本年度中に運用を開始する予定です。
②小、中学校で統一したルールを作成しました。タブレット端末の活用にあたり、児童、生徒の安全を守る指導を徹底しています。

未来を育てる小中学校

浦木 秀雄 議員

デマンド型バス

改善を求める

高齢者や住民の意見を参考に検討／町長

問 実証運行中のデマンド型バスは、住民を苦しめている。週5日から3日運行へ。事前登録や事前連絡が必要。連絡しないと乗せてもらえない。運行時間の変更で、通勤、病院通いに不便等の声が出ている。「高齢者は泣きよるぜよ」「へんぴな所がさらにへんぴになったらいかん」。この声を活かし改善していくべきではないか。

岡田町長 変更の内容については、デマンド型バス等の実証経過を踏まえ、スクールバス等の全ての路線を対象に、維持可能な地域公共交通の見直しを、高齢者や住民の意見を参考にして検討していきたいと考えています。

実証運行中のデマンド型バス

めざすべき教育

子ども達に教えたいものは

仲間を大事にする心／教育長

問 何を子ども達に教えたいのか。どんな学校であってほしいと願っているのか。

伊与田教育長 教科の内容はしっかりと教え込むこと。教科以外の教育活動も大事にして、一人ひとりの子どもに自分の良さや可能性を認識させ、仲間との活動を通して人としての優しさや、仲間を大事にする心を教えていきたいと考えています。また、子どもが学校に行きたい、保護者が学校に行かせたい、職員がその学校で働きたい、と思えるような学校にしていきたいと思っています。

問 現在学校で行っているアオリイカとアサギマダラの学習の深化は。

伊与田教育長 もう少し子どもたちの中で考えさせて、それを情報発信していく、その仕方については、今後の課題として考えていきます。

問 GIGAスクール構想をどのように評価しているか。

岡田町長 ICTの活用は授業の質を高め、深い学びを実現するという目的を達成するための手段であると考えています。従来の教育実践とICT活用を組み合わせて、新しい学びを創造しようとする雰囲気を各学校で実現させていきたいと考えています。

大堂・柏島は自然の宝庫

中田　巌議員

SDG's（持続可能な17の目標）

町政にどう反映させていくか

新たに磨き上げていく／町長

問　第7次大月町総合振興計画に盛り込んだSDGs（エスディージーズ）の理念を今後の町政にどう反映させていくのか。

岡田町長　持続可能な自治体運営を目指す上で、これまで取り組んできた事業の継続や拡充、そして新たにSDGsの理念に基づいた事業を磨き上げ、活力ある地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。

問　この振興計画をただ作成しただけに終わらせないよう、各課の窓口にSDGsの17の目標の中で各課が目指すロゴを掲載することを提言する。まずは職員がSDGsを語れるようになり、町民の模範となるべきでは。

岡田町長　まずは振興計画の周知活動から始め、一定の理解を得た段階で目標とするロゴの設置を検討します。

持続可能な目標の一つ

道の駅

飲食店の撤退について

重く受け止めている／町長

問　飲食店に対しての対応は十分なものであったのか。これから迎える夏の繁忙期に、町の経済の中核となっている道の駅に飲食店がないことをどう捉えているか。

岡田町長　まず、長く道の駅で頑張っていただきました飲食店様には心から感謝と労いを申し上げます。

本町の物流や産業の拠点、人々が訪れる重要な施設です。重く受け止め一刻も早く飲食店が無い状態を解消したいと思っています。

問　空きとなったテナントの今後の活用は。ふるさと振興公社としっかりと協議していくべきではないか。

岡田町長　後任の募集を開始しています。後任が決まるまではふれあい市の利用を願います。

ふるさと納税

減収対策と今後の姿勢は

対策・協議していく／町長

問　今や大月町の大きな収入源となっているふるさと納税が、経費率の見直し等の影響によって大きく減収している。各種事業を行っていくためにも大事な財源であると認識しているが、その対策は。

岡田町長　新たなポータブルサイトへの追加を進めており、6月中には3つのサイトへの掲載や近隣市町村との連携による仕組みを検討しているところです。

問　総務省の通達から、行政もできるだけ出品者に負担をかけまいと努力してきたが、もっと早い時期からの説明が必要ではなかったか。

岡田町長　年間の寄付状況を見極めながら、返礼率の見直しをするか否かを検討してきたため、説明会が一か月前になってしまいましたが、ご理解を得たものと思っています。

仕組みの見直しが求められる

山本　恒和 議員

海洋教育

「四国海洋王国は、大月から」

SDG’sの理念のもと 持続可能な町づくりへ／町長

海洋基本計画とは

漁業従事者・内航船員の高齢化に伴い、海洋事業が衰退する恐れがあるため、国は第三期海洋基本計画を平成30年に閣議決定した。

国土交通省四国運輸局は令和元年8月に「海洋教育アイランド四国」構想を発表し、海洋教育の推進に力を入れている。

問　海洋教育に本町の海洋技術・知識を生かし、逸早く成果を上げ大月小中学校の知名度を高めるべきではないか。

伊与田教育長　海洋教育は、海のことを知り、海を体験する大切な学習であると認識しています。限られた時間の中ですが教育課程に組み込み、生活科や総合学習時間に海洋に関する学習を行っています。特色のある、海に関する教育活動を行っており、今後も内容を充実したものにしていく協議をしていきます。

海の勉強会

問　海洋教育の提案の本筋は地域の活性化にある。本町と小中学校の知名度を上げ、学術の産業化を進める必要があると考えます。海洋教育は、教育だけの問題ではなく、大月の活性化への道とし、本町から幡多地域へ、四国全体に繋げていく大きな構想としたい。執行部の考えは。

岡田町長　人口減少対策や地域の活性化に向けた取り組みの1つとしたいと思います。SDGsの理念のもと、環境を中心とする持続可能な本町を目指し、海と山、環境と産業が一体的に発展する事業などを、今後、積極的に取り組む必要があると考えます。海に関連する施策は本町にとって重要なキーとなることも理解しています。現時点において、海洋教育1本に地域活性化の舵をきることはできませんが新たな産業を生み出す一つの方法として考えたいと思います。

アオリイカ産卵床の設置

問　国が示す海洋基本計画に基づき本町の活性化を進めるべきと考える。本町の高度な海洋技術・知識を利用して大月の活性化・産業化を図り、人の流れを拡大させ、地域の繁栄に繋げなければならないのではないか。

岡田町長　将来的に見れば当然重要な国の政策の一つとして考えなければならないと想定しております。どの様に対応するかは、関係機関とも協議して取り組んでいかなければならないと考えます。

こんにちは

食卓に元気(力)を届けたい

松本(まつもと) 恒彦(つねひこ) さん 48歳（笠木）

父親が経営する「松本養豚場」（笠木）で働く松本恒彦さんを訪問しました。

開業40年

約40年前、大阪から帰ってきた父正彦さんと母直子さんが、当時町内に50戸近くあった養豚業に参画することになりました。

養豚業が衰退するなか、一番最後に参画した松本さんが、現在唯一残っている生産者です。

力豚(りきぶた)ブランド

今や力豚ブランドとして多くの食卓に並べられるようになり、「甘味があって美味しい！」と喜ばれています。

また、大月町のふるさと納税ランキング上位を常にキープし、大月町の寄付を支える貴重な存在となっています。

賞状

農林水産大臣賞

松本 正彦 殿

あなたの出品財は第五十五回農林水産祭参加の高知県養豚協会・一般社団法人高知県畜産会共催第十四回（平成二十七年度）高知県豚枝肉共進会において特に優秀と認められたのでこれを賞します

平成二十七年十月十日

農林水産大臣 森山 裕

名誉ある賞状

農林水産大臣賞

約40年間培ってきた自家育成により全てが自然交配で、その肉は甘味が格別と評価も高く2015年に高知県豚枝肉共進会で農林水産大臣賞を受賞しました。父がコツコツと積み重ねてきた努力が、このような形で認められたことを誇りに思うと満面の笑みで答えてくれました。

両親の想いを継ぐ

親が「大月で育った力豚を食べて元気（力）を出してもらいたい」とゼロから始めたこの仕事。体が続く限り守っていきたいと力強く語っていたのが印象的でした。

香港で土佐赤牛等を取り扱う会社から「力豚を香港で売りたい」というオファーもあるといいます。『大月の力豚』が『世界の力豚』になるのもそんなに遠くないかも知れません。

（取材　中田巌）

この仕事を守り抜きたい

編集後記

静かなる水面(みなも)に映る月は美しい。水面が波立っていたら月は揺らぎ美しい真の姿を見ることはできないだろう。

人の心も同じではないか。欲や憎しみや妬みの心があれば波立つ水面と同じように真実の姿が見えていないのではないだろうか。

『明鏡止水(めいきょうしすい)』とは、良く言ったものだ。穏やかな水面のような心は、世のあらゆる物事を正しく映し出せる。そして、正しい判断ができる。それが人の徳というものであろう。

常に、心は清く穏やかに持ちたいものです。

（山本　恒和）

議会広報常任委員会

委員長　山本　恒和
副委員長　浦木　秀雄
委員　依岡　一生
委員　安原　明彦
委員　中田　巌